

平成28年度
第3回野津原中学校区統合準備委員会

日時：平成29年2月28日（火）

19:00～

場所：野津原市民センター大会議室

I 開会のことば

II 委員長あいさつ

III 議事

【1】 経過報告

【2】 協議・報告

【3】 その他

IV 閉会のことば

Ⅲ 議事

【1】 経過報告

1 第3回統合準備委員会までの経過報告

- ・ 12/15(木) ～ 1/12(木) 学校名の募集
- ・ 1/18(水) 委員長・副委員長等との協議
- ・ 2月上旬 小中学校長との協議

【2】 協議・報告

1 統合後の学校の運営に係る検討

2 学校名、校歌、校章の改正に係る検討

3 通学支援の実施に係る検討

4 P T A組織の改編に係る検討

5 統合に伴う環境整備 < 今回協議なし >

6 通学環境の整備 < 今回報告のみ >

7 その他 < 別途協議 >

【3】 その他

1 第4回統合準備委員会の開催について

○5月25日(木) 19:00～

野津原市民センター大会議室

○開催案内 4月下旬に発送予定

2 所管する課の変更について

第3回 野津原中学校区統合準備委員会

資料集

【2】 協議・報告

1 統合後の学校の運営に係る検討 < 担当：学校、教育委員会 >

今回協議なし

(1) 連携型小中一貫教育の推進について

28年度～29年度 中学校区で研究の継続

(2) 特色ある教育活動の充実について

① 小学校とのつはるこども園の交流活動の充実

28年度の交流活動の状況について・・・別紙資料

② 魅力ある教育活動の創造

- ・ 児童生徒と地域住民のふれあいを大切にした教育活動
 - 地域住民との交流については、どこかの学年で交流を継続する
 - 29年度に教育課程を作成する
- ・ ふるさとへの誇りと愛着をはぐくむような教育活動
 - 公民館活動「野津原郁々堂」の活用・・・別冊資料集

*③ 3小学校の交流活動

- 29年度に3小学校の交流活動を行う（授業、行事等）

今回協議なし

(3) 大分市コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入について

28年度 野津原中学校に学校支援協議会を設置
・成果や課題を整理

↓

30年度 小中学校に学校運営協議会制度を導入予定

2 学校名、校歌、校章の改正に係る検討

＜ 担当：保護者、自治会、教育委員会 ＞

(1) 学校名の検討について

① スケジュールについて

12月 校名案の募集

12月15日号の市報と同時に

「NEWS第2号」の回覧 と 「応募用紙」の全戸配布

2月（第3回） 校名案を絞り込む → 教育委員会に報告

6月 条例の改正

② 集約結果について

・別冊資料集

(2) 校歌の検討について

① 方向性について

児童生徒へのアンケートをもとに、校歌を作成する

② スケジュールについて

4～5月 児童生徒へのアンケート実施（使ってほしい言葉）

↓ 歌詞の作成

10月（第5回）歌詞（案）の報告 → 2月（第6回）校歌の報告

(3) 校章の検討について

① 方向性について

児童生徒の校章案をもとに、専門家に制作を委託する

② スケジュールについて

4～5月 児童生徒が校章案を制作

7月 専門家に委託

10月（第5回）校章案の提示

3 通学支援の実施に係る検討 < 担当：教育委員会、保護者 >

(1) 通学支援方法の選択について

4月 通学支援方法の意向調査について
保護者を対象にした説明会の実施について

- ・ 野津原西部小学校PTA総会 4月20日(木)
- ・ 野津原中部小学校PTA総会 4月21日(金)
- ・ 野津原東部小学校PTA総会 4月21日(金)
*一部対象者のみ：福宗、辻原

(2) スクールバス等の運行について

29年度2学期頃
スクールバスを選択した保護者を対象

- ・ 具体的な運行ルート等の検討

4 PTA組織の改編に係る検討 < 担当：保護者、学校 >

(1) 統合後のPTA組織について

方向性についての検討・・・別冊資料集

今回協議なし

5 統合に伴う環境整備 < 担当：野津原支所、教育委員会 >

(1) 学校進入路の整備について

完成予定時期：30年2月下旬頃

(2) スクールバス、自家用車の送迎スペースの整備について

完成予定時期：30年2月下旬頃

(3) 自家用車の駐車スペースの整備について

完成予定時期：30年2月下旬頃

* 28年度：測量、設計 → 29年度：用地取得、工事

今回報告のみ

6 通学環境の整備 < 担当：学校、自治会、野津原支所 >

(1) 防犯灯の設置に向けた取組について

第2回 新たな学校進入路に防犯灯の設置を確認
*送迎スペースと駐車場には照明を教育委員会が設置する



課題を整理し、地元自治会等に依頼・協議
*現在ある防犯灯は引き続き地元自治会で管理

(2) ガードレールの設置に向けた取組について

< 大分土木事務所の回答 >
平成28年度末までに工事終了予定
現在のガードパイプに追加、坂の途中の広場まで

別途協議

7 その他

(1) 統合後の育成クラブの運営等について

< 担当：保護者、子育て支援課 >

- ・ 別途協議

■ 今後のスケジュール

	28 年度	29 年度	30年度
学校の運営	小中一貫教育、特色ある教育活動、コミュニティ・スクールの検討		統 合
学校名 校歌 校章	学校名の検討	校歌・校章の検討	
通学支援	通学支援の協議		
P T A	PTA組織の検討		
環境整備	学校進入路、送迎スペース、駐車スペースの整備		
通学環境	防犯灯、ガードレールの設置に向けた取組		
育成クラブ	育成クラブの運営等の検討		

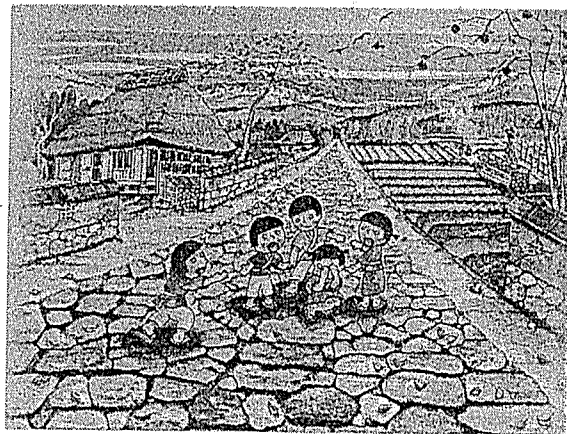
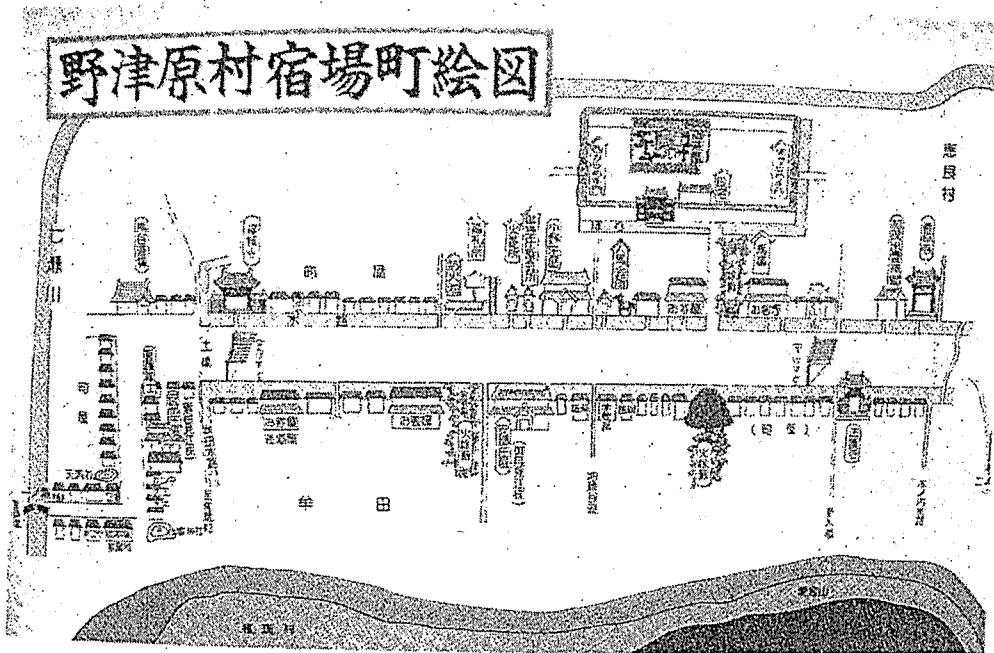
第3回 野津原中学校区統合準備委員会

別冊資料集

平成28年度

野津原郁々堂

活動のしおり



大分市立野津原 () 学校

() 年 氏名 ()

はじめに

- 自分の学校と違う人とグループになります。友だちをたくさん作りましょう。
 - 中学生を中心に班を作ります。みんなで助け合って歩きましょう。
 - 野津原の歴史遺産をたずねます。ふるさとの宝物を自分の目で確かめ、野津原のすばらしさを伝えられるようにしましょう。
 - 今回の体験をもとに、歴史に登場する人物や、どんなことをしたのか調べてみましょう。
 - このしおりを作るにあたって、野津原ボランティアガイド協議会の人に資料を提供してもらったり、お話を聞かせてもらったりしました。みんなの住んでいる地域に、ふるさとを大切に思う人がいることをお知らせします。
- 今日は、ボランティアガイドの方も参加して、解説をしていただきます。

いくいくどう 「郁々堂」とは

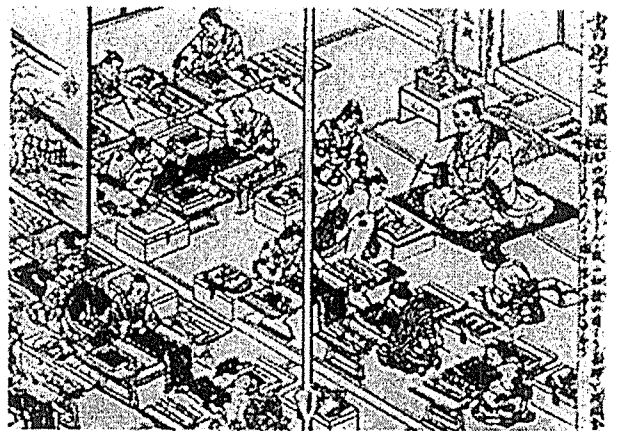
安政6(1859)年7月～明治3(1870)年の11年間、肥後藩ひごはんによって野津原に開講された郷校きょうがう。

学習内容は、講義こうぎ、素読そとく、習字、算術、武芸。生徒数は70人。

教育のための費用は、すべて藩が払っていた。試験による進級制度はなかったが、毎年一度、春か秋に郡代ぐんぢによる試験があった。

武芸の対外試合は鶴崎に出向いていった。

(出典 「野津原物語 一野津原町・町制施行40周年記念誌一」)



「野津原郁々堂」の事業は、子どもたちに豊かな体験活動をさせたいという願いで、野津原公民館と野津原地区の小学校と中学校が一緒に計画しました。昔から教育熱心であった野津原地区の郷校の名前をとって事業名をつけました。

平成28年度 野津原郁々堂

1. 目的

- 参勤交代道路を歩いてふるさとの遺跡を知り、ふるさと再発見をしよう。
- グループで一緒に考えてクイズを解き、ふるさとの歴史に関心を持とう。
- 他校の人と交流して、たくさんの友だちをつくろう。
- 体験をもとに、江戸時代の日本や歴史的人物について調べてみよう。

2. 参加者

大分市立野津原中学校	1年生	25名	引率者	3名
大分市立野津原東部小学校	6年生	19名	引率者	3名
大分市立野津原中部小学校	6年生	8名	引率者	1名
野津原公民館職員	3名			
協力者：野津原ボランティアガイド	1名			
				合計 63名

3. 実施日 平成28年11月8日(火) 13:30~16:05

4. 実施場所 野津原支所周辺(東部小校区内)

5. 内容 野津原の歴史を知ろう。野津原クイズに挑戦しよう。

6. 日程

13:30	中部小出発 (矢野原バス停)
13:40	野津原中出発(校内) ※中部小と乗り合わせ
13:50	3校支所(野津原バス停)到着。班ごとに整列
13:55	出発式
14:05	探索スタート(★ガイド) 支所→逆襲墓→新町公民館(途中クイズ①あり)
14:20	新町公民館着(★ガイド)
14:30	新町公民館発→法護寺(途中クイズ②あり)
14:50	法護寺着 (☆ガイド)
15:00	法護寺発→野津原神社(途中クイズ③あり)
15:10	野津原神社着(★ガイド)
15:20	野津原神社発
15:25	東部小グラウンド着(雨天時は体育館)
15:30	解散式 「クイズ」の答え合わせと補足説明(★ガイド)
15:40	東部小発→支所のバス待機場所へ
15:50	バス乗車 支所出発
15:55	野津原中学校(校内)着
16:05	野津原東部小(ガソリンスタンド跡地着)

参考資料 (児童・生徒の感想)

○ぼくは、肥後街道を歩いて、昔あった道をそのまま変えずに使っているのがすごいなあと思いました。野津原はすごく素敵な町だと思いました。神社にある遺跡、特に絵がすごいと思いました。その中にはごはんも食べることができず苦しんでいる姿の絵があって、そういう貴重な物が神社に残されていて、すごいと思った。92歳のガイドさんがこの郁々堂のために資料とかを読んで準備をしてくれて本当に感謝しています。(東部小)

○今回の郁々堂では、たくさんの野津原の歴史を学んであらためて、野津原のことをまだまだ分かってなかったことがいっぱいでした。法護寺の住職さんから、中を見せてもらって、とっても貴重な体験をさせてもらいました。今度はぼくが自分で歴史をさがしたいです。(東部小)

○私は、中学生や東部の友達と一緒に歩いたり、クイズを途中で解いたりしたのが楽しかったし、野津原のことをよく知れました。加藤清正の事もよく知れました。(中部小)

○僕は野津原の事は知っていたつもりでいたけど、郁々堂で周って、加藤清正(にゆかりがあるのは知っていたけど)を神としてまつているとは知らなかったです。そして野津原に鷲ヶ城という城があることも知れてよかったです。(中部小)

○去年、郁々堂に参加できませんでしたが、今年はお出ることができてよかったです。自分の中で野津原のことは知っているつもりだったけど、逆修墓(碑)は知りませんでした。また、野津原であった出来事なども知らないことがたくさんありました。今日、歩いていけたことで野津原の魅力を発見できました。(野津原中)

○私は、お寺の中に入ってみた時に感激しました。私は歴史が好きなので、いろいろな写真や絵を見ることができたからです。今日は、野津原の歴史が知れてとても楽しかったです。本当にありがとうございました。今日知った事を忘れないようにします。(野津原中)

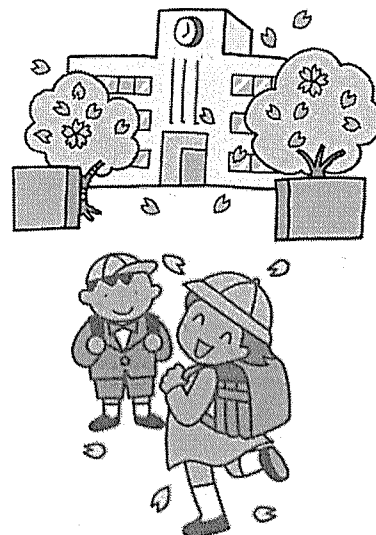
野津原中学校区の小学校名案応募用紙

大分市学校教育指導方針に示す「目指す子ども像」 <未来を切り拓く心豊かでたくましい子ども>
 <個性を發揮し、夢と希望をもって、主体的、創造的に生きる子ども><生涯にわたって学びつづける基礎を身に付けた子ども>の育成及び野津原中学校区適正配置基本計画等を踏まえ、統合後の野津原中学校区にふさわしい小学校名案を募集し、校名案作成における参考意見とします。

<応募内容>

統合後の野津原中学校区の小学校名案

*野津原中学校区は平成30年4月1日に、野津原東部小学校、野津原中部小学校、野津原西部小学校を統合します。



<留意事項>

- 原則として、常用漢字を使用する。
- 難しい漢字、誤読しやすい漢字は使用しない。
- 市内の他の校名と同様の校名は使用しない。
- 現在の小学校名（東部、中部、西部）は使用しない。

<応募期間>

平成28年12月15日（木）～平成29年1月12日（木）

<応募できる人>

野津原中学校区の児童生徒、保護者及び教職員並びに野津原中学校区にお住まいの方
 （卒業生については、校区の居住者に意向を伝え、校区居住者が代表して応募すること）

<応募用紙>

応募用紙が必要な場合は、各学校及び野津原支所に準備しています。

なお、①住所、②氏名、③校名案、④理由（思い、願いなど）が記入されていれば、用紙は問いません。

※個人情報につきましては、目的以外には使用しません。また、終了後、応募用紙は速やかに廃棄します。

<提出先>

児童生徒、保護者、教職員：野津原東部小、野津原中部小、野津原西部小、野津原中学校

校区居住者：各自治委員（各学校、野津原支所においても提出が可能です）

*自治委員さん方は、自治区から集まった応募用紙を1月13日（金）に校区の学校又は野津原支所へ提出をお願いします。

..... 切り取り線

野津原中学校区の小学校名案応募用紙

①住所 (学校名 学年)	※児童生徒は、学校名・学年 だけを記入
②氏名	
③校名案	
④理由 思い、 願い など	

1 学校名の検討について …… 応募された通称案数 53

○野津原(のつはる)小学校：34（野津原：24、のつはる：9、両方：1）

- ・将来に亘って野津原の名称を残したい
- ・簡潔でわかりやすい
- ・野津原地区で1校のみなので、地域の名前を使用するのが妥当
- ・由緒ある野津原の地名を冠として残すことと、将来の小中一貫教育校を想定する時、この名称よりほかは考えられない
- ・東部、中部、西部の平等性を考えて
- ・野津原にある学校で、中学校も野津原中学校なので、地域の方々も覚えやすい
- ・どの小学校の頭についている「野津原」を残し、新校名に使うことで、生まれ育った地域への誇りや愛着を残していけるのではと思う。未来まで「野津原」が残ってほしい
- ・緑の山群と七瀬川に育まれた野津原地区の小学校。野津原の名前は建久7年(1196年)に呼び名があっただけに、生まれ育った生徒にはふさわしい校名と思う
- ・ひらがなの方がやわらかい。小学生が覚えやすく、書きやすい。わかりやすい
- ・ひらがなで優しさをイメージとして打ち出すのもよい
- ・ひらがなは親しみやすい など

○野津原七瀬(ななせ)小学校：8（七瀬：4、ななせ：4）

- ・野津原と言えば七瀬の清流。子どもたちも清らかに伸び伸びと教育を望む
- ・植田地区に「ななせ公園」が存在するので、野津原を特定する「野津原ななせ」としたい
- ・大分市と合併した時に「ノツハル」という名前を残してほしかった。ノツハルのシンボルとして浮かんでくるのは、地域を悠悠と流れる清流七瀬川である
- ・ななせ川は野津原に水源があつて、西部、中部、東部校区を通っているから
- ・野津原地区を連なる川のように、野津原の繋がりは七瀬川によって繋がっている。この繋がりを母校や地域を含めて大切にできる小学校になってほしい
- ・地名や名前を使うことで、ふるさと野津原、七瀬に親しんでもらえると思った
- ・野津原は七瀬川が流れているので
- ・野津原っ子は緑多き山々やななせ川とは切っても切れない生活環境で育ち、ダムの名前も「ななせダム」とのこと、ぜひ「ななせ」を入れてほしい など

○七瀬(ななせ)小学校：4（七瀬(ななせ)：2、ななせ：2）

- ・きれいな七瀬川のように清らかに伸び伸びと育ててほしい
- ・東部、中部、西部、今市という意識を無くし、皆の共有の自然の流れに沿った連帯をイメージできる。七瀬川ダムも完成するので、広く知られてくる
- ・今市地区に源を発して胡麻鶴に至る野津原中学校区全域の共通の風景である七瀬川にちなんで。漢字の「七瀬」よりも「ななせ」の方がソフトでよいと思う
- ・ななせ川があるから など

○野津原諏訪小学校：1

- ・旧町の合併当時に思いを寄せ、新しく歴史を作っていく小学校にしたい

○野津原学園・小等部：1

- ・野津原の歴史ある地域を後世に残すため、野津原の活性化に繋がりたい

○野津原三部小学校：1 …… 東部、中部、西部があつた事を思い出すことができるように

○野津原七瀬川小学校：1 …… 川があるから

○のつはる東小学校：1 …… 東という言葉が好きなので

○野津原中部小学校：1 …… 中部小学校の名称がなくなる方がよい

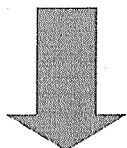
○ななせの里小学校：1 …… 地域性のある名前

野津原中学校区統合準備委員会
～ PTA組織の改編に係る検討 ～

【 PTA組織設立手順及び概略スケジュール】

平成28年11月～

統合となる3校(野津原東部小学校・野津原中部小学校・野津原西部小学校)のPTA組織の組織構成、会則等の新PTA組織の基本的事項について検討、整理



新PTA組織設立準備会の結成

* 準備会委員

統合となるPTA組織の会長・副会長(女性)・会計担当
・校長の12名(4名×3校)

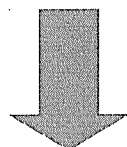
平成29年2月

新PTA組織の組織構成、会則等の基本的事項について(案)の作成

平成29年3月～4月

新PTA組織設立について関係校PTA総会時に説明

- ・新組織設立のスケジュール
- ・組織構成、会則等の基本的事項(案)
- ・役員を選出について
- ・新組織設立時の資金
- ・各小学校PTA組織の財産(備品等)の取り扱い



関係校PTA総会時の資料、PTA広報誌等により、新PTA組織設立手続き等について、保護者・教職員へ周知

関係校において新PTA役員候補選出等

平成30年4月

新小学校において新PTA組織設立会議の開催
(設立会議で新PTA組織設置と新PTA会則案を決定)



設立会議からPTA総会へ切り替え、
役員選出、事業計画、予算等を審議

(2) 特色ある教育活動の充実について

① 小学校とのつはるこども園との交流活動の充実

1 ねらい

- ・園児との交流を通して、高学年としての責任感や自主性及び豊かな心を育成する。
- ・児童との交流を通して、小学校や在校児童に対する親近感を持たせ、小1プロブレムを解消するとともに、安心して入学できるようにする。

2 交流活動の実際

(1) 運動会にかかる交流活動（5年生） 【1・2学期】

① 1学期の交流 顔合わせ・ペア作り・ふれあい活動（遊びやダンス） 1回交流

② 2学期の交流 こども園児の小学校運動会への参加及び5年生との練習

「にんげんっていいな」の曲に合わせてダンスを踊る（1回練習）

③ こども園の運動会に向けた園児の応援練習の指導

- ・中休み時間 体育館で5回練習



(2) こども園の遊び集会への参加（5年生） 【2学期】

- ・「ハーモニーランドの思い出を発表しよう」
- ・こども園の発表会に客として招待され、乗り物やアトラクションに参加したり、パレード（踊りやダンス）の発表を聞いたりして交流した。



(3) 遊びを通じた5年生とのふれあい交流 【3学期】

・小学校体育館でじゃんけん列車、ロパク言葉あてゲーム、〇×ゲームをして交流した。



(4) 交流給食(全校) 【3学期】

・全校児童と年長組の園児が各学年に別れ、給食を児童と一緒に食べながら会話などをして交流した。楽しそうに時間を過ごす姿が見られた。



(5) 学校見学 【3学期】

・全学年の授業を見学後、1年生が「学校の日」についてスライドや絵を使って説明したり、1年生と一緒に名前や絵をかいたりカルタをしたりして交流した。園児は興味深く、交流を楽しんでいた。



(6) その他

①小学校施設の使用(プール、遊具、体育館)

- ・6月～7月：小プールでの水遊び
- ・年間：遊具の使用
- ・10月：運動場や体育館での、こども園の運動会練習



②保・幼・小連絡協議会の実施 年2回(6月、3月)

3 成果と課題

【成果】

<本校児童>

- ・お世話することで、責任感や自主性が育成できていること。
- ・交流することで、計画や運営ができるようになってきたこと。
- ・交流する中で、兄・姉としての意識をくすぐられ、5年生の顔つきがやさしくなってきたこと。 → 心の育成
- ・現在の6年生が1年生と休み時間に交流する（遊ぶ）姿がよく見られること。

<園児>

- ・園児の小学校に対する不安感が軽減できていること。
→知っている人がいることの安心感
- ・園児の児童に対する親近感が増していること。

<教職員>

- ・教職員同士が事前の打ち合わせをしたり、交流の様子を観察・指導したりする中で、子どもの実態について把握することができ、今後の指導に活かすことができること。

【課題】

- ・施設が隣接していないために、頻繁に交流ができないこと。